



できごと

静岡県立中央図書館子ども図書研究室では、今年度も「子どもと本を結ぶ」活動をされている方々の支援を目的とした各種企画をご用意しています。

例えば、現在、静岡アートギャラリーで行われている原画展に合わせた絵本の展示を、子ども図書研究室とグランシップ県立図書館コーナー「えほんのひろば」で行っています。原画展に合わせて読み聞かせなどを準備されている方は、ぜひご利用ください。このような季節や行事と関連した展示のほか、講演会や講座など、様々な事業を計画しています。

裏面では、今年度の子ども図書研究室の予定について、現在決まっているものを中心にお知らせします。

子ども図書研究室のテーマ展示 ただいま展示中です！

妖怪の本

「絵で読む宮沢賢治展 - 賢治と絵本原画の世界」によせて
新着図書も常時展示中です。

イベント情報

絵で読む宮沢賢治展 - 賢治と絵本原画の世界

期間：平成20年4月5日(土)～5月25日(日)

場所：静岡市駿河区南町18-1 サウスポット静岡3F
静岡アートギャラリー 電話：054-289-5400

開館時間：10:00～19:00(入館は18:30まで)

休館日：月曜日(但し5月5・6日は開館、7日休館)

入館料：一般1000円(800円) 大高生・市内70歳
以上600円(500円) 中学生以下無料

()内は前売り及び20名以上の団体料金

身体障害者手帳等をご持参の方及び介助者は無料

展覧会に合わせて、読み語り「賢治文学を楽しむ」や
ミニ・コンサートなどが開催されます。

新着資料から

絵本

『車いすのおねえちゃん』



ステファン・ボーン / 作

イナ・ハーレマンズ / 絵

野坂 悦子 / 訳

大月書店

2007年12月

交通事故によって車いすを使うことになった「おねえちゃん」が、事故後、初めて小学校へ行く日のできごとを描いた絵本。同じ学校に通う弟の目を通して、姉の不安な様子や、弟自身のとまどいを丁寧に語る。また、2人を支える両親のしなやかな対応にも好感が持てる。

「心をケアする絵本」と題するシリーズの3冊目。巻末に「保護者、先生、カウンセラーのみなさんへ」として、交通事故被害者の兄弟姉妹を持つ子どもへのサポートについて書かれている。【小学校低学年から】 (鈴木由)

物語

『ネズミ父さん大ピンチ!』



ジェフリー・ガイ / 作

勝田 伸一 / 絵

ないとう ふみこ / 訳

徳間書店

2007年12月

人間の家の壁の中に住んでいるハツカネズミのアナクグリの一家。ある日、すばしっこい黒ネコのハンニバルがつれてこられたからさあ大変! 生き残りをかけて、賢い父さんネズミのアナクグリは、ネコにある交渉を持ちかける。

著者はイギリス人、敵のネコやドブネズミを相手に外交戦略を展開する一家の姿は欧米の世界観のあらわれ、とするのはうがち過ぎか。お話はワクワクする冒険物語であり、互いに認め合った敵との友情、子ネズミの成長や新しい家族の誕生が楽しい。【小学校高学年から】(牧田)

平成 20 年度の 子ども図書研究室

講演会について

今年度の「子ども図書研究室講演会」は、「すばらしい翻訳・困った翻訳 - 絵本の翻訳ウラ話」と題して、翻訳家・児童文学研究者の灰島かり先生にお話しいただきます。

外国語で書かれた本を日本語で読めるようにするのが翻訳の仕事です。今まで、様々な名作絵本が翻訳され、日本で読まれてきましたが、ひとくちに翻訳といってもその質には大きな差があります。そこで講演会では、名訳から問題のある訳まで、さまざまな翻訳絵本について語っていただきます。また先生の翻訳家としての経験をもとに、実際に翻訳を行った際の苦労話などについてもお話しくださる予定です。

日程は6月18日(水) 午後1時30分～3時30分。申し込み・受付は1か月前から始める予定です。詳細は後日、県立中央図書館やグランシップ県立図書館コーナー「えほんのひろば」、県内市町立図書館、静岡県立中央図書館 Web ページ、静岡県図書館メールマガジンなどでお知らせします。

子ども図書研究室の展示について

今年度も季節・行事や各種テーマに関連した、さまざまな展示を行っていきます。

現在、子ども図書研究室では、夏に先駆けて「妖怪の本」を展示しています。季節の展示は実際の時期よりも早めに展示していますので、イベントや読み聞かせなどで使う本の参考にご利用ください。

また、現在、静岡アートギャラリーで行われている「絵で読む宮沢賢治展 - 賢治と絵本原画の世界」に合わせて、当館で所蔵する宮沢賢治の絵本を展示しています。原画を見て物語に興味を持った方や、宮沢賢治の作品がどのような形で絵本になっているのか知りたい方は、当研究室へお立ち寄りください。

**Web ページのアドレスは <http://www.tosyokan.pref.shizuoka.jp/contents/lab0/index.html> です。 **

今後は「オリンピックの本」や「一番新しいクリスマスとお正月の本」(2007年以降に出版された本)などの季節に合わせた展示、「青少年読書感想文全国コンクール課題図書」や「ニッサン童話と絵本のグランプリ」などのテーマに沿った展示を予定しています。図書館や児童室で展示を行うときや、課題図書の実物を確認したいときなどに、子ども図書研究室の展示資料をご活用ください。

講座について

今年度は「ストーリーテリング」に関する講座を予定しています。

昨年度までは、2回連続の形式で2種類の講座を行っていましたが、参加者から「もっと先生のお話を聞く時間が欲しい」「講座を3回にしたらどうか」といった意見も寄せられたため、今年度は1つの講座を3回連続で行う形に変更します。日程は、10月・11月・12月で、平日コースと土曜コースに分けて行う予定です。講師や日時、具体的な内容等は、決まり次第改めてお知らせします。

この他、Web ページコンテンツのさらなる充実や、児童サービス関係講座の案内などを予定しています。今年度も本紙『子ども図書研究室だより』や静岡県立中央図書館 Web ページ内にある子ども図書研究室ページ、静岡県図書館メールマガジンなどにご注目ください。

所蔵資料から

絵本

『注文の多い料理店』



画本宮沢賢治
宮沢 賢治 / 作
小林 敏也 / 画
パロル舎
1989年7月

宮沢賢治の素朴な物語を、独創的な版画と装丁で彩っている。同シリーズとして他に『やまなし』『雪わたり』なども出版されている。

(渡辺勝)